



目次

- ▶ GIGAスクール構想の実現へ 一人一台のタブレット端末の配備を完了しました…P1
- ▶ 放課後の居場所 すまいるスクール…P3
- ▶ 図書館がより身近に 配備タブレット端末との連携…P2
- ▶ 「まもるっち」を貸与しています…P4
- ▶ オンライン配信! 令和2年度家庭教育講演会…P2
- ▶ 83運動にご協力ください…P4
- ▶ コロナ禍における学校教育にご協力ください…P3
- ▶ 学校改築を推進しています…P5
- ▶ 新しい生活様式の下、学校行事を行っています…P3
- ▶ 特別支援学級の設置校が増えます…P6

GIGAスクール構想の実現へ

一人一台のタブレット端末の配備を完了しました

タブレット端末の導入



▲児童・生徒に配備したiPad

「GIGAスクール構想」とは、児童・生徒一人一台の学習用端末の配備と、高速大容量の通信環境の整備により学校教育のICT化を推進する国の施策です。

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う令和2年4月の緊急事態宣言下、多くの自治体で学校の臨時休業を行ったことから、全国的にオンライン学習の必要性が高まりました。そのため、区では計画を前倒しし、令和3年2月中旬に学習用端末としてiPadを児童・生徒に一人一台配備しました。

このiPadは、携帯電話と同じように端末単体での通信機能を備え、教室をはじめ、家庭や校外学習、家庭でも活用することが可能です。

学校教育が変わります

一人一台の端末を持つことで、授業の在り方は大きく変わります。教員と児童・生徒はもとより、児童・生徒同士でお互いの考えを、その場で瞬時に把握、共有することができま。これにより児童・生徒側の情報発信が容易になり、双方向型の授業や意見交換が可能となります。

また、人工知能を搭載した学習アプリによる進捗状況に合わせた個別学習や、オンライン会議システムの活用による連携校間の交流学習、遠方にいる講師による授業、海外の学校との交流など、これまでにない教育活動が実現します。

加えて、学校が臨時休業となった場合には、家庭と学校の間のリモートでの双方向型授業も可能となります。



▲端末配備に際し、授業の一環として上級生が下級生に使い方を指導しました。

そして今回配備した端末は、家庭との連絡ツールとして活用することも想定し、今後は出欠席の連絡や学校からのお便りの配布などの活用を検討します。

区はこれまでも、各教室へのプロジェクタ、デジタル教科書、書画カメラの設置による教室環境のICT化を図ってきました。これらと合わせて、配備した端末を十分に活用できるよう、教育委員会では教員向けの研修を充実させ、児童・生徒の学びに寄与できるよう努めていきます。



国の「GIGAスクール構想」の下、区立学校に通う児童・生徒に配備したタブレット端末のホーム画面内、「品川区リンク集」には、区立図書館ホームページへのショートカットアイコンが表示されています。このアイコンをタップすることで、いつでも、どこでも区立図書館ホームページへアクセスし、図書の所蔵調査や予約を行うことができます。



▲このアイコンをタップして区立図書館ホームページへアクセスします。

話題のマンガやライトノベル、ノベルイズも所蔵していますので、新しい知識や情報に触れたくなった時、タブレット端末からだけでなく、実際に足を運び、図書館へ立ち寄ってほしいと思います。

図書館を通して好みの1冊と出会い、より良い読書活動へとつながることを願っています。



▶ティーンズに向けた事業として、中高生POPコンテストを開催しました。

今年度は「防ごう！子どものネット・ゲーム依存」をテーマとして、独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター院長の樋口進氏を講師に迎えました。樋口氏は様々な依存症を専門とし、平成23年に国内初のネット依存治療専門外来を設立されました。

講演では、診療の経験や統計資料をもとに、子どものネット・ゲーム依存に関する実態や症状、治療方法、そして家庭でできるルール作りや保護者の子どもへの対応方法などについてお話しただきました。依存症は睡眠障害や体力低下、脳の萎縮なども引き起こします。治療する際には、「断ネット・ゲーム」よりも「減ネッ

ト・ゲーム」をを目指すことや、長期的な視点で我慢強く治療していくことなどが有効だそうです。

また、子どもに対してネットやゲームを制限するときには大人も一緒に使わないようにすること、ネット・ゲームに代わる何かを見つけることが重要であることを学びました。

視聴した保護者からは、「子どもとの関わりの中でルールを作っていくことが大切だと感じた」「子どものゲーム時間を見直していきたい」などの声が届きました。

総視聴回数 1115回。多くの方に見ていただきました。来年度も家庭での教育に役立てていただけのようなテーマで開催していきます。

A photograph of a man with glasses and a dark suit standing behind a wooden podium, speaking into a microphone. Behind him is a large projection screen displaying the text "経済学と政治学" (Economics and Politics) in Japanese. The setting appears to be a lecture hall or conference room.

▲講演会撮影の様子

コロナ禍における 学校教育にご協力ください

コロナ禍における学校での対応につきまして、ご理解・ご協力いただき感謝申し上げます。



現在も感染症対策を様々講じながら教育活動を展開しています。引き続き、検温やマスクの準備・着用等、感染症対策へのご協力をお願いするとともに、家族内に感染を疑われる方がいる場合や児童・生徒に発熱等の症状が見られる場合はご自宅で休養していただきますようお願いいたします。

また、学校では、感染への不安に対する対処、感染者や濃厚接触者とその家族への偏見や差別につながる行為を行わないことを、発達段階に応じて指導しています。

ご家庭におきましても、児童・生徒の様子を見ながら気になることがあります。学校へお知らせください。

新しい生活様式の下、 学校行事を行っています

今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、例年通りの教育活動は中止や延期を余儀なくされましたが、各学校では、参加学年の精選や活動内容の工夫により、新しい生活様式に合わせた行事を実施しています。

教育委員会においても、6・9年生の思い出となる行事を検討し、屋形船を活用した東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の施設見学やホッケー体験等を企画しました。

こうした学校行事は、子どもたちにとって久しぶりに皆で外の空気を感じながら各々の交流を深めることのできる良い機会となりました。



▶ 屋形船を活用した施設見学

放課後の居場所

すまいるスクール

すまいるスクールは、学校施設を活用した放課後の居場所です。区立学校に関わらず小学校・義務教育学校に通う児童を対象に、学びと遊びを通して子どもたちの成長を育むことを目的としています。

主な活動としては、児童が学校の宿題等に自主的に取り組む「学習タイム」、地域ボランティアなどが講師を務める将棋・生け花・タグラグビーなどの「教室」を実施しており、児童はすまいるスクールでの様々な体験を通して、地域の方々と交流を深めています。

また、「フリータイム」では学級や学年を超えて共に遊んだり、運動したりするなど自由に過ごしています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前申込みによる参加とし、フリータイムを中心に活動しました。

今後も、感染症対策を図りな

がらすまいるスクールの運営に取り組んでいきます。

なお、令和2年度より、入室管理等システム(愛称…すまっぴ)を導入し、児童がすまいるスクールに来た時、帰る時に、アプリやメールで保護者にお知らせできるようになりました。



▲ 出入口で「すまいるチップ」をかざすことで、入退室時刻を保護者に通知します。



▲ すまいるスクールを利用する児童に配付している「すまいるチップ」

「まもるっち」を 貸与しています



▲まもるっち端末

●「まもるっち」とは

区では、区立学校に通う児童および私立学校等に通う区内在住で希望する児童に「児童見守りシステム用緊急通報装置」（通称「まもるっち」）を無償で貸与しています。

児童見守りシステムとは、地域の支えあい・助け合いによる安全・安心なまちづくりの実現を目的とする、区独自の防犯システムです。

児童が危険を感じた時に「まもるっち」の防犯ブザー用ストラップを引くと、警報音と同時に区役所内の「まもるっち」センターに通報され、状況に応じて生活安全サポート隊や保護者、学校、警察、地域の協力者に連絡をする仕組みです。

システムの運用時間は日曜・祝日、年末年始を除く月曜日から土曜日の午前7時30分から午後8時までで、運用時間外に発報があった場合は事前に登録した保護者へ自動音声またはメールで連絡を行います。



令和元年度の「まもるっち」の総発報件数は約6万件でした。その内、児童が身の危険を感じ、緊急事案として取り扱った件数は6件でしたが、重大な事態に発展した事案はありませんでした。

●保護者の皆様へお願い

「まもるっち」は、区や警察、そして地域の協力者の皆様の方で児童の安全確保を図ろうとするものです。

しかし、中には「公園の遊具を譲ってくれない」「友達とケンカした」など、本来の目的とは異なる理由でブザーを引く事例もありました。緊急時以外にブザーを引くことのないよう、保護者から児童に対し「まもるっち」を持っている意味や正しい使い方をご指導くださいますようお願いいたします。

また、「まもるっち」は必ずしも犯人の撃退や児童の安全を保障するものではありません。児童の成長段階や発達段階、行動範囲の拡大などに応じて、危機回避能力を育み防犯意識を高められるよう、日頃からご家庭で話し合っていただけだと思います。



83運動は、「小学生の登下校時刻である午前8時と午後3時には、

なるべく外の用事を行いながら子どもを見守ろう」というスローガンのもと品川区から始まった安心・安全のための見守り活動で、今では全国に広がっています。

登下校時刻に限らず、買い物や犬の散歩など外に出る機会があれば、子どもの様子を気にかけて、見守り活動にご協力ください。

令和2年度、83運動推進委員会では、この運動を普及させるために、マスクに貼るシールを作成して配布するなどの取り組みを行いました。

区もこの運動の普及に努め、主にベストやピンバッジなどの啓発グッズをPTAへ配布したり、周知のため広報紙に啓発記事を掲載したりするなどして、活動を支援しています。



学校改築を推進しています

学校施設の老朽化と

就学人口の増加

区では、計画的に学校施設の改築工事を進めています。その背景として、既存の学校施設の老朽化が進んでいることや、就学人口が急増している（左図）といった要因があります。こうした状況に対応すべく、順次改築工事を進め、より安心・安全な教育環境の構築に努めています。



改築工事が完了しました

後地小学校は平成30年8月に工事に着手し、令和2年8月に校舎が竣工、同3年1月に全工事が完了しました。新校舎は、延床面積約7,800㎡、鉄骨造（部鉄筋コンクリート造）の地上4階建て。普通教室、特別支援教室、特別教室計27室などを備え、屋上にプールを配置しています。



後地小学校

城南小学校・幼稚園は、平成29年12月に工事に着手し、令和2年2月に校舎・園舎が竣工、同3年1月に全工事が完了しました。新校舎・園舎は、延床面積約9,000㎡、鉄骨造（部鉄筋コンクリート造）の地上4

階、地下2階建て。普通教室、特別支援教室、特別教室などを備え、地下に屋内運動場を、屋上にプールを配置しており、1階の旧東海道側が幼稚園となっています。



城南小学校・幼稚園

両校ともに太陽光発電や太陽熱給湯等を設け、エコスクールとして文部科学省の認定を受けており、環境にも配慮しています。



鮫浜小学校



浜川小学校・幼稚園



第四日野小学校

※画像はすべて完成イメージ図です

改築工事を進めています

鮫浜小学校は令和元年7月に工事を開始し、同3年度に校舎が完成予定です。浜川小学校・幼稚園は令和2年8月に工事を開始し、同3年度に園舎、同5年度に校舎が完成予定です。第四日野小学校は、令和3年度に工事を開始し、同7年度に校舎が完成予定です。このほか、浜川中学校では現在、改築工事に向けて基本設計を策定しています。

工事期間中は、児童・生徒・保護者・地域の皆さまにご迷惑やご不便をおかけしますが、安全に最大限配慮して行いますので、ご理解の程よろしくお願いします。

特別支援学級の 設置校が増えます

令和3年4月から小学校・義務教育学校（前期課程）の知的障害特別支援学級を下図のとおり新たに、日野学園と荏原平塚学園の2校に開設します。これにより、区内に6校ある義務教育学校の前期・後期課程全てに知的障害特別支援学級が設置されることとなります。

知的障害特別支援学級では、記憶、推理、判断などの知的機能の



▲特別支援学級での学習の様子

小学校・義務教育学校（前期課程）の 知的障害特別支援学級 設置状況



★令和3年度、新規に知的障害特別支援学級を開設する義務教育学校（前期課程）

●既に知的障害特別支援学級を設置している小学校・義務教育学校（前期課程）

●知的障害特別支援学級を設置していない小学校

発達に遅れがみられ、生活への適応が難しい児童・生徒を対象に、一人ひとりの言語面、運動面、知的面などの発達の状態や社会性などを適切に把握し、主体性や自発性を十分に発揮できるよう指導を工夫しています。

例えば、低学年では体力づくりや基本的な生活習慣の確立、日常生活に必要な言語や数量などの指導を、高学年では日常生活に加え、社会生活につながる知識や技能など、個に応じた生活に役立つ内容を重視し、1学級8名という小集団での指導を行っています。

今後、児童・生徒に寄り添い、発達段階に応じた適切な教育活動に努めていきます。

第44回わんぱく相撲 品川区大会

開催概要

日程
2021年5月16日(日)

参加資格
品川区内在住または在学の小学生
※参加のお申し込みは、後日、生徒に配布するチラシからお申込みください

会場
品川区立豊葉の杜学園(アリーナ)

住所
品川区二葉1丁目3番40号

＜主催＞
わんぱく相撲品川区大会実行委員会
＜お問い合わせ先＞
品川区立豊葉の杜学園(アリーナ) 体育部
TEL 03-6401-8847
Email: shinnawa@city.tama.lg.jp

お知らせ

教育長杯各種スポーツ大会につきまして、令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から全て中止しました。そのため、例年本誌に掲載している表彰チームの紹介記事は、省略させていただきます。大会を楽しみに練習していた子どもたちの今後の活躍を願っています。

